# やんべにけんかが円満のコツ

後藤 富雄さん(84)
やす子さん(80)
津山町・本町四丁目
1960(昭和35)年11月入籍

**★2人のなれ初めは**

【富雄】見合いで連れて行かれて初めて会ったわけっしゃ。おとなしそうな人でね。

【やす子】出身が河北町(現石巻市)なんで、こっちの方さ来たくながったんだでば。でも、どっか魅かれたんだがね(笑)。

**★結婚当時の思い出は**

【富雄】家業が大工でさ。同居の兄貴がね「すぐに別暮らしになったんでは情うつらないから、1カ月くらい一緒の釜の飯かねげ駄目だって」。本家で10人の大所帯で暮らしたね。

【やす子】カレー作るときは、大きな鍋にいっぱい作んだがら。いい思い出だね。

**★現在の楽しみは**

【富雄】川柳だね。賞を取ったこともあっから、知り合いに「ここで一句」と言われることもあんだよ。

【2人】友達と週2回グランドゴルフしているけど、その後のお茶っこ飲みが楽しいね。漬物やお茶菓子持って来てわいわいと。

**★夫婦円満のコツは**

【富雄】けんかするけど、あとはやんべに引っ込んだ方が得すっから。いづまでやってでもしょうがないからね。負けたふりしてんのっしゃ(笑)。



## 「古里を思う今昔」

現在は、交通網が整備され、古里がとても身近になりましたが、登米市の親族が少なくなるにつれ、縁が遠く離れた気がしています。

時の流れは早いもので、私が南方村を離れたのが1956年3月。集団就職の始まりの頃でした。仙北鉄道の「ガソリンカー」で瀬峰駅へ行き、そこから仙台までは鈍行の旅。仙台駅から夜行列車に揺られ、一晩かけて上京しました。早朝、上野駅に着いた時の景色は、今でも忘れられません。

就職先の葛飾区は、当時東京23区でもあまり知られていませんでした。今でこそ映画「フーテンの寅さん」で有名になった葛飾柴又は「ビッキ」の大合唱。思わぬ歓迎に驚きました。

当時の就職は全て住み込みで、米を購入するのに、米穀通帳が必要な時代。住み込み先のご飯は、見たこともない細長い外米で、米どころ出身の私の喉を通りませんでした。

わが古里は、宮城県でも有数の稲作地帯です。しかし、米は生産調整され、さらに米価の下落などが聞かれます。古里へ帰るたびに、稲作農家は米を作る喜びが少なくなり、作る意欲までも失くしているように思えます。厳しい状況ですが、これからも環境に優しく、安全安心な環境保全米の産地として頑張ってほしいと思います。

先日古里から、大嶽山観世音ご開帳の案内を頂きました。町人会役員や会員に声を掛け、多くの人たちと古里の厚い人情と初夏の香りを楽しみに帰郷します。

昨年はオリンピックボート会場誘致で毎日のように長沼が話題になり、全国で有名になりました。在京町人会の自慢です。今後も微力ながら、登米市発展のため、役に立てればと思っています。

佐々木 勝雄さん(76)
関東地区
宮城県南方町人会会長
南方町(畑岡)出身



# おらほの物産

## とよま観光物産センター「遠山之里」

「新商品の試食も用意しています」と、遠山之里スタッフの高橋さんと山田さん。

今月は、とよま観光物産センター「遠山之里」の山田忠則取締役管理部長に話を伺いました。

**Q今の時期、おすすめ商品を教えてください。**

みそ汁、煮物、煮魚や炊き込みご飯など、日本の食生活に欠かせない「だし」。厳選された素材で作られた「陸奥の国・人は登米のだし」がお勧めです。

だしの原料は、シイタケ、昆布やかつお節などが使われており、全て国内産で品質に間違いはありません。シイタケは東和町産が使われています。うまみ成分グアニル酸を多く含み、身の締まった濃厚な味と香りが、だしにアクセントを加えています。

使い方は1、2分煮出すだけと、とてもお手軽です。ひと味もふた味も差が出る「本物」を、ぜひご賞味ください。

「人は登米のだし」と、これを使って商品化した漬物も取りそろえています。

お菓子は「仙台ふくちゃん・南蛮味噌味」と「麺ざくざく・仙台味噌味とかき醤油味」。仙台ふくちゃんは、仙台麩を仙台味噌と一味唐辛子で味付けした変わり種のかりんとう。辛い物が好きな人や、ビールのお供に最適です。「麺ざくざく」は、麺が米油でカラッと揚げられており、サクッと軽い新食感です。どちらも南蛮味噌など、宮城を代表する人気の味を加えたお菓子です。

**【問い合わせ】**とよま観光物産センター「遠山之里」
☎0220(52)5566

# まちの文芸

## 俳句・川柳

**作品募集！**
●8月号は短歌です。住所・氏名・電話番号を記入し、6月30日(金)までご応募ください。作品には全てふりがなを振ってください。
●応募者多数の場合選考して掲載します。

川柳――

青蛙今が出番と喉鳴らす　菅原たゑ子(迫)

俳句――

山も田も畑も動き風薫る　及川 澄子(東和)
餓鬼大将吹く草笛の遠くまで　舩坂 朗子(東和)
風はらむ一村一基の鯉のぼり　春日 悦子(東和)
もこもこともこもこもこもことエビネの芽　菅原いよ子(東和)
被爆せし桜並木も葉桜に　千葉 勝保(東和)
ベビーカーの指差す彼方揚羽蝶　首藤 恭子(東和)
菖蒲湯に顎まで浸り雨を聴く　小野寺和彦(東和)
草餅を供へて夫の三回忌　須藤 捷子(東和)
風光る日差し背にうけペダル踏む　村上 君枝(東和)
春惜しむ窓辺に向きし椅子ふたつ　佐藤 昭(中田)
しんしんと代田に雨の波紋かな　高橋武比古(中田)
空よりも水の明るき代田かな　高橋 良(豊里)
まづ赤きおひさま画く児山笑ふ　大友ふき江(津山)

応募総数22作品